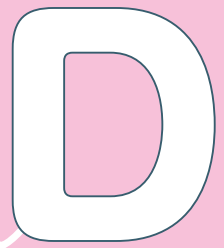




かいせつ

せいせい エーアイ かつよう

生成 AI 活用のトラブル



どうなる？

生成 AI は文章をつくったり、質問に答えたり、絵や画像を作ったりするのに使えて便利だけど…。



「生成 AI」は学習のヒントをもらったり、考えを広げたりするのに役立ちますが、使い方に気をつけないとトラブルにつながることもあります。

① 考える力へのえいきょう

・宿題やレポートを作るときに、生成 AI に答えをそのまま書いてもらおうと、自分で考える時間が少なくなってしまう。これからの社会では、自分でアイデアを考えたり、答えを批判的に見る力が大切になります。

② 情報が誤っていることも

・生成 AI は、とてもそれらしい文章を作ることがあります。でも書いてあることがいつも正しいとは限りません。まちがった情報や、本当とはちがう内容が入っていることもあるため、そのまま信じて使うとまちがえたり、こまったことが起きたりすることがあります。

● 生成 AI は「副操縦士」

生成 AI は、時には間違ったり、あいまいな答えを出すことがあります。よく生成 AI は飛行機の「副操縦士」に例えられることがありますが、操縦士は AI を使う皆さんです。副操縦士に、上手に指示を出しながら、みなさんの目的にたどり着けるように使い方を考えてみましょう。

どうする？

① 生成 AI は「答え」ではなく「ヒント」として使おう

・生成 AI を使うときは、すぐに答えを出してもらうのではなく、まずは自分で予想したり、考えたりしてみましょう。そのあとで、「考えるヒント」や「調べるきっかけ」として使うことが大切です。また、生成 AI で文章を書いたり、アイデアを考えたりしたときは、「どこで」「どんなふうに」使ったのかを、自分の言葉で説明できるようにしておきましょう。



② たしかめながら使おう（ファクトチェック）

・生成 AI が作る文章や答えは、いつも正しいとは限りません。そこで、教科書や本、信頼できるウェブサイトなど、ほかの資料でも同じことが書かれているかを確かめてみましょう。このように、情報をそのまま信じずに、たしかめることを「ファクトチェック」といいます。ファクトチェックを意識すると、生成 AI を安心して、学びに生かして使うことができます。

考えてみよう

(つか かた かんが を かんが て み よ う)



● せいせい エーアイ は

(_____) つか に つか う

れい じぶん かんが を さら に ひろ げ た い と き
例：自分の考えをさらに広げたいとき

● せいせい エーアイ を つか う と き は

(_____) を し る

れい ファクト チェ ック 、 ま ず は じぶん で こた え の よ そ う
例：ファクトチェック、まずは自分で答えの予想

● せいせい エーアイ を つか う と き は

(_____) を し な い

れい す ぐ に こた え を き く こ と
例：すぐに答えをきくこと



保護者の方へ



【家庭で気をつけたいこと】

生成 AI は、大人にとっても新しい技術であり、子供だけに注意を求めることは難しい分野です。家庭では、「使ってはいけない」と一方的に制限するのではなく、「**どんな場面で使うと役に立つか**」「**どんな使い方は問題になりそうか**」を、子供と一緒に使えそうな場面を考える姿勢が大切です。

また、生成 AI の利用について話題にすることで、子供が「わからないまま使う」状態を防ぎ、一緒に解決していく姿勢が大切になります。

【ルールの決め方】

生成 AI の利用に関するルールを決める際には、2つの視点が考えられます。

1つ目は、「**使ってはいけない時**」を決めるルールです。例えば、「宿題やレポートを生成 AI に作らせない」「人の写真を勝手に使ってイラストを創らない」など、禁止事項をルールにしておくことは大切です。

2つ目は、「**望ましい使い方**」を決めるルールです。例えば、「疑問に思ったことは生成 AI に尋ねてみる」、「文章を書くときに日本語の正しい使い方を生成 AI に確認してもらう」など、どんなときに活用することが望ましいかをルールにしておくことも有効です。「子供の方が詳しいから…」ではなく、家庭の実態に応じて、望ましい生成 AI の使い方を考えていくことが重要です。